

令和5年5月29日

テニス部顧問殿

横浜地区高等学校体育連盟テニス専門部委員長

川口 智史

令和5年度リーグ戦の審判について

今年度神奈川県高等学校新人テニス大会団体の部からソロチェアアンパイア（以下SCU）方式が導入されることを踏まえ、横浜地区テニスリーグ大会では以下のようにする。

1 SCU方式で行う試合について

対戦校同士で確認の上、シングルス1とシングルス2の2試合で、両校から1名ずつのチェアアンパイアをつけ、SCU方式の試合を行う。

なお、ダブルス1、ダブルス2、シングルス3の対戦は、基本的にセルフジャッジで試合を行う。

ただし、開催の時期は熱中症の恐れがあることや、部員の人数が少ない高校がいることが想定されるため、対戦校同士の顧問と確認の上、リーグ担当者の判断で柔軟に変更する場合がある。想定される例については「2 想定される事態とその対応例について」を参照。

ソロチェアアンパイアのやり方については、神奈川県高体連テニス専門部ホームページの「ルール・審判について」を参照のこと。

2 想定される事態とその対応例について

(i) 試合に出る選手しか部員がいない

→ 選手の体調面の考慮、および試合進行に支障が出る可能性があるため、全対戦セルフジャッジで行うこととする。ただし、会場の面数および試合の消化状況、本人と対戦校同士の顧問の了承が得られる場合は、SCU方式の試合を行ってもよい。

(ii) 両校とも人数が多いため、5試合すべてでチェアアンパイアが付けられる

→ 対戦校同士の顧問の了承が得られれば、可とする。